

(第二通は年次不詳なるも、今便宜之を合叙す) 六月十六日。幕府、山城建仁寺兩足院に、能美郡保善院及び同寺領を還付してその年貢諸公事を收めしむ。

【兩足院文書】 山城

1007

建仁寺兩足院末寺賀州能美三ヶ庄内保善院・同寺領等事、被返付之上者、任文明拾年奉書之旨、年貢諸公事物、如先々嚴密可致其沙汰之由、被仰出也。仍執達如件。

布施下野守

文明拾參 六月十六日

英 基 在判

松田豊前守

常 通 在判

(文明十年五月八日の條參照。)

十一月九日。幕府、本覺寺及び大坊主中に、山城祇園社領河北郡刈野村の年貢を違亂せざらしむ。

【祇園社記】

1008

(通忍九) 杉生還恩申祇園社領加州刈野村内本役分年貢事、及違亂候。不可然。早可被止其妨。若又有子細者、不日可被明申候也。仍執達如件。

文明十三

十一月九日

本 覺 寺

(嚴尾) 元 連 在判
(松田) 貞 康 在判

(刈野は文明三年四月三日の文書に刈野に作られ、今の狩鹿野なり。本覺寺はその所在を知らず。)

【八坂神社文書】 山城

1009

杉生還忍申祇園社領加州刈野村内本役分年貢事、百姓等難澁云々。不可然。早如先々嚴密可致其沙汰。若又有子細者、不日企參洩、可明申之旨可被加下知之由候也。仍執達如件。

文明十三

十一月九日

大坊主中

元 連 在判
貞 康 在判

文明十四年

壬寅

紀元二二四二

六月二十日。鹿島郡永光寺領羽咋郡志指見の庄主慶傳等、その作人に卸狀を與ふ。

【永光寺文書】 鹿島郡

1010

洞谷山永光寺領志指見散在分之事

合壹町五段并屋敷一所 目錄在別紙

右彼田地分、本作人助ヲ子助次郎宛下處實也。但有年貢不法解怠者、何時可改易者也。仍爲已後證狀如件。

文明十三曆寅六月廿日

庄主 慶 傳 在判

紹 燈 道 寅 在判

傳 灯 桂 岳 在判

龜 源 澄 江 在判

住 持 陽 山 在判

閏七月廿四日。幕府、江沼郡那谷寺をして、同寺本泉坊團應の中院通秀所領額田莊得丸名作職を違亂するを停めしむ。

【中院文書】

1011

(通秀) 中院一位家雜掌申加州額田庄得丸名作職事、就由緒被宛行渡部右京進之處、(團應) 本泉坊以前知行之間、號替地押收當寺領内田地之間、去年雖被成奉書不能承引云々。言語道斷之次第也。重而被成御下知畢。猶以及異儀者、可有其沙汰由被仰出候也。仍執達如件。

文明十四

閏七月廿四日

那谷寺三坊

(布施) 英 基 在判
(嚴尾) 元 連

九月十六日。幕府、朝日政清・同時長等の越訴を停め、中院通秀に江沼郡額田莊・加納八田莊を直務せしむ。

【中院文書】

1012

加賀國額田莊・加納八田庄等事、先年既被經御沙汰御成敗處、朝日三郎政清并朝日孫左衛門尉時長企越訴之條、物念之儀太不可然。所詮於彼訴訟者被停止了。早任數